

仁淀消防指導による総合避難訓練  
 ～高齢者自主グループのみなさんとの合同訓練～ =H24. 2. 22=



南海大地震に備え、震度4を想定した総合避難訓練を実施。館内で毎週活動している自主グループの皆さんとも助け合いながら行いました。総合健康センターは赤ちゃんは勿論、兄弟連れの保護者や高齢者、障害者も利用しています。真向かいの仁淀病院への避難とはいえ、助け合ってもかなり時間がかかり、健康センター内のガラス飛散防止対策、子どもや障害者、高齢者を含め、一人でも多くの命を守るための対策について、多くの課題が再確認されました。合同訓練のたびに事前事後に話し合いを重ねるうち、互助し合うことや、周囲の地域の方々と連携する機会にもなっています。保護者も真剣に参加するだけでなく、“自分達で命を守るため”に建設的な意見も出してくれました。センターとしての対策と一人一人の自覚や意識の向上へつながる経験になっています。

そして避難訓練！  
 そして消火訓練！



消火訓練には親子で参加。

おじいちゃんおばあちゃんやパパやママ、ちいさい子どもたちも消火器に触れ、使用方法を経験しました。

はじめは「こわい…」と見ていた子どもも、遊びの場面で、おもちゃを消火器に見立て消火活動をしていましたよ！ ( ◡ ◡ )



「火事だ！」と出動！  
 ボールを目がけて消火開始！  
 しゅーーー！！